

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	育てる漆器プロジェクト
事業主体 (連絡先)	木曾漆器青年部 (塩尻市大字木曾平沢 2272 番地 7)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (オ その他)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,711,300 円 (うち支援金 : 1,368,000 円)

事業内容

国指定の伝統的工芸品であり、塩尻市の主要地場産業の一つである「木曾漆器」は、産地の後継者・木曾漆器産業の伝え手育成への対応が急務となっており、本プロジェクトでは、産地内部での意識付けや愛着形成を長期的な視点で取り組む『自分で“塗る”“使う”“直す”「育てる」漆塗り給食トレー事業』と『後世につなぐウルシの植樹活動』の2つの事業を実施した。



【給食トレーに漆塗りを施す様子】

事業効果

① 檜川小中学校と連携し、小中学生に学校給食で自分が毎日使用するトレーに自分で漆を塗る機会を提供することで、漆器への親近感・愛着の形成を図ることができた。

また、ウルシ苗木をプランターに植樹するとともに、プロジェクト会議で2年目以降に小中学生に学校敷地内で植樹する機会を設けるための畑の場所を決定し、整備計画についても検討を進めた。

② ①の活動を通じ、プロジェクトに関わる1~9年生および学校職員の皆さんに木曾漆器をより身近に感じてもらえることができた。今後、トレーの使用や植樹経験等により木曾漆器への思いはさらに深まることになれば、将来的な産地の後継者・木曾漆器産業の伝え手になりうる児童・生徒・職員の増加が期待できる。

【目標・ねらい】

- ① 産地の小中学生に対する「漆器に深く関わる」機会の提供
- ② 将来的な産地の後継者・木曾漆器産業の伝え手になりうる児童・生徒数・職員の増加

※自己評価【A】

【理由】

- ・小中学校はじめ関係者との連携を丁寧に進めることで、スケジュール通りに進めることができた。
- ・希望していた植樹スペースの整備許可を得ることができた。
- ・多くのマスコミに取り上げられ、各所で興味を持ってもらえた。

今後の取り組み

- ・プロジェクト2年目となる令和5年度は、年度当初から1~9年生全員が漆塗り給食トレーを使用できる状況となることから、経年変化を感じながら、年1回メンテナンスの漆塗りを施していく「育てる」フェーズに入り、実感を通して興味を深める取組を行っていく。
- ・また、令和5年度には学校敷地内に植樹用のウルシ畑を整備し、小中学生が植樹~生育管理に関わることから、トレーの漆塗りと合わせてさらに「深く関わる」機会を創出していく。
- ・本プロジェクトを広く知ってもらうために、公共施設等での展示発表や、市の広報等での発信も積極的に取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある